

6-1 豊岡市における地域公共交通活性化・再生総合事業

豊岡市地域公共交通総合連携計画の目標

公共交通の基幹を担っている路線バス26路線117系統のうち11路線41系統について、平成20年10月1日から路線休止を行うと申し出があり、住民及び来訪者の移動手段の確保が急務となっている。

これを機に地域の関係者が適切な役割のもと、主体的かつ積極的に連携・協働し、移動手段の維持・確保、活性化に向けた路線バスの再編及びコミュニティバス・乗合タクシー等の新たな交通システムの導入を含めた取組みを行う。

20年度事業の実施状況

1. 事業の内容

路線バス休止の対応としてコミュニティバス等の実証運行

- 愛 称 : 市営バス「イナカー」(énacar)
- 運 行 方 法 : 道路運送法第78条 市町村運営有償運送(交通空白輸送)
- 運 行 期 間 : 平成20年10月から平成23年3月まで
- 運 行 路 線 : 12路線
気比三原線、赤石線、竹野海岸線【田久日線・奥須井線】、宇日日和山線(デマンド運行)、竹野南線【竹野三原線・床瀬線】、三方線【金谷線・知見観音寺線】(一部デマンド運行)、八代線(デマンド運行)、奥山線(一部デマンド運行)、奥小野線(デマンド運行)、天谷佐々木線【天谷線・佐々木線】(一部デマンド運行)、河野辺線、合橋資母高橋線【合橋線・但東清滝線・坂野東里線・奥赤線】(デマンド運行)
- 運 行 本 数 : 平日 125便 土日祝日 45便
- 運 賃 : 初乗り(2.5km未満)100円 以後2.5kmごとに100円加算 上限400円
- 運 行 事 業 者 : 全但バス(株)・日本交通(株)・(株)ランドウェイ・(有)京都さくら観光

豊岡市地域公共交通活性化協議会

豊岡市、全但バス(株)、日本交通(株)、兵庫県バス協会、兵庫県タクシー協会、豊岡市区長連合会ほか住民の代表、豊岡南警察署、豊岡北警察署、神戸運輸監理部兵庫陸運部、兵庫県、全但バス労働組合、西日本旅客鉄道(株)福知山支社、学識経験者

【事務局】豊岡市都市整備課内 0796-23-1111



兵庫県豊岡市位置図

2. プロセス、創意工夫

■地域の需要特性を分析し、需要特性に応じた運行計画を策定。
車両の小型化(マイクロバス・ワゴン車等)、デマンド運行の導入。
わかりやすく使いやすい料金設定とした。

■路線バスが休止された地域については、自動車を利用することが
困難な高齢者や児童・生徒などの日常の移動手段を確保した。

■市町合併前から一部地域で実施していたコミュニティバスについて
も市営バス「イナカー」として再編するとともに、併走するスクール
バスを廃止し、市営バス「イナカー」に統合するなどバス交通について
効率を図った。

■路線バスやJRとの乗り継ぎに配慮したダイヤ設定とした。

■運行車両には一目見て市営バス「イナカー」とわかるようなデザイン
を施した。

■初期経費を削減するため、使用するほとんどの車両は市所有の
公用車を改装し転用した。

■市広報紙に利用状況などを掲載し、積極的に利用していただくよう
に周知した。



イナカー
(河野辺線)



イナカー
(赤石線)

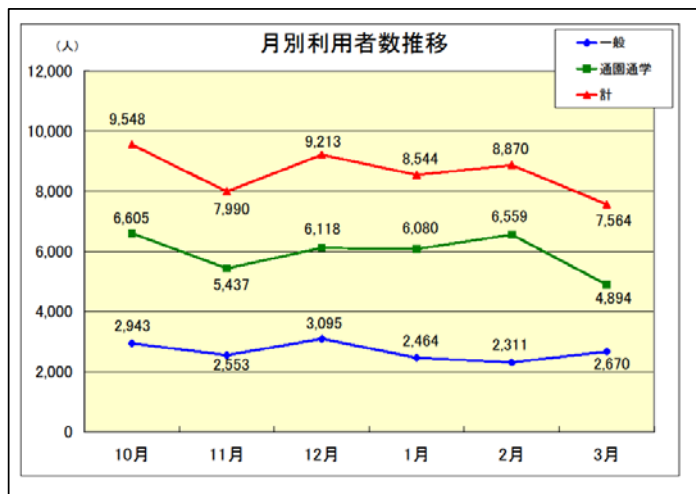
3. 事業費等 (単位：千円)

■総事業費	70,668	●運賃収入	10,847
		●市負担金	30,465
		●総合事業費補助金	29,356



イナカー
PRチラシ

4. 利用実績



6. 今後の課題

■利用者の多数は、幼稚園・小中学校への通園通学利用であり、現在の運行形態(運行サービス)を維持・向上させるためには、一般利用者の増加が不可欠である。

■地域活性化のためには、現にバスを利用している人(バスを必要とする人)のみならず、地域全体で「私たちのバス」という意識を醸成する必要がある。

■事業性の極めて低い地域における公共的交通の確保。

21・22年度の事業予定

- コミュニティバス(市営バスイナカー)の実証運行
- 実証運行の評価・見直し

5. 事業実施効果

■路線バスが休止されたことにより、「通院や買い物ができない」「学校に行けない」など日常生活ができない地域(交通空白地域)の発生を防ぐことができた。

■病院や学校へのアクセスを考慮し、需要特性に応じた路線としたため、運行経費の抑制を図ることができた。
(市所有の車両を活用・車両の小型化・デマンド運行)

■コミュニティバスやスクールバスを統合することにより、市全体のバス交通(輸送手段)の効率化を図ることができた。



市広報紙(10.25号)



イナカー(気比三原線)